

△ABC において、 $AB = 3$, $BC = 5$, $\angle ABC = 120^\circ$ とする.

このとき、 $AC = \boxed{\text{オ}}$, $\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\boxed{\text{カ}}}}{\boxed{\text{キ}}}$ であり、

$\sin \angle BCA = \frac{\boxed{\text{ク}} \sqrt{\boxed{\text{ケ}}}}{\boxed{\text{コサ}}}$ である.

直線 BC 上に点 D を、 $AD = 3\sqrt{3}$ かつ $\angle ADC$ が鋭角、となるようにとる. 点 P を線分 BD 上の点とし、△APC の外接円の半径を R とすると、 R のとり得る

値の範囲は $\frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{ス}}} \leq R \leq \boxed{\text{セ}}$ である.

(15 センター本試 I・A 2(2))

オ	カ	キ	ク	ケ	コサ	シ	ス	セ
7	3	2	3	3	14	7	2	7

解答は次のページにあります.

【チェック・チェック】

余弦定理, 正弦定理を用いた基本問題です. 図を描きながら問題を読んでいきましょう.

【解答】

△ABC において余弦定理を用いると

$$AC^2 = 3^2 + 5^2 - 2 \cdot 3 \cdot 5 \cos 120^\circ = 49$$

$$\therefore AC = \boxed{7} \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

オ

また,

$$\sin \angle ABC = \sin 120^\circ = \frac{\sqrt{\boxed{3}}}{\boxed{2}}$$

カ
キ

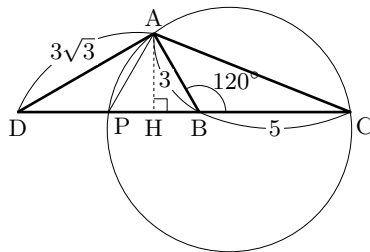
△ABC において正弦定理を用いると, ①より

$$\frac{3}{\sin \angle BCA} = \frac{7}{\sin 120^\circ}$$

$$\sin \angle BCA = 3 \cdot \frac{\frac{\sqrt{3}}{2}}{7} = \frac{\overset{ク}{\boxed{3}} \sqrt{\overset{ケ}{\boxed{3}}}}{\boxed{14}}$$

コサ

点 P は線分 BD 上を動くから, 頂点 A から線分 BD におろした垂線の足を H とおくと



$$AH \leq AP \leq AD \quad \therefore 3 \sin 120^\circ \leq AP \leq 3\sqrt{3}$$

$$\therefore \frac{3\sqrt{3}}{2} \leq AP \leq 3\sqrt{3} \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

R は △APC の外接円の半径より, 正弦定理を用いると

$$\frac{AP}{\sin \angle PCA} = 2R$$

$$\therefore R = \frac{1}{2} \times \frac{AP}{\frac{3\sqrt{3}}{14}} = \frac{7}{3\sqrt{3}} AP \quad (\because \angle PCA = \angle BCA)$$

②より

$$\frac{7}{3\sqrt{3}} \times \frac{3\sqrt{3}}{2} \leq R \leq \frac{7}{3\sqrt{3}} \times 3\sqrt{3}$$

$$\therefore \frac{\overset{シ}{\boxed{7}}}{\overset{ス}{\boxed{2}}} \leq R \leq \overset{セ}{\boxed{7}}$$

← 前半は余弦定理, 正弦定理の小手調べ. チェクリピ 余弦定理 チェクリピ 正弦定理

← この設問なら **オ** の前においてもらいたいですね.

← ここから後半, まずは与えられた条件を図にしてみよう.

← R を AP を用いて表した.